

産総研福井サイト開設5周年記念講演会

「脱炭素社会の実現に向けた産総研のエネルギー関連技術」

— 再生可能エネルギー、電池、カーボンフットプリント評価 —

2050年に目標設定された”脱炭素社会の到来“は、エネルギーを主に化石燃料に依存する現在の社会構造に根本的な変容をもたらし、その実現に向けて革新的イノベーションが必要な社会課題です。本講演会では、多岐にわたる産総研のエネルギー関連研究の中から、エネルギー・環境領域を中心に取り組みが進められている、「再生可能エネルギー」、「電池」、「カーボンフットプリント評価」に係る研究について、具体的な事例や社会実装への展望なども併せ、ご紹介をさせていただきます。

開催時期 2021年11月26日(金) 13:30 - 16:10
開催方法 オンライン開催 Microsoft Teams
(福井県工業技術センター *G308 会議室へも配信)
(*G308 会議室: 定員: 20名)
(新型コロナ感染状況により Web 開催のみの可能性有)
参加費 無料

プログラム

13:30 主催者挨拶 産総研関西センター 所長 辰巳 国昭
13:35 ご挨拶 福井県工業技術センター 所長 後藤 基浩 様
13:40 活動紹介 「産総研福井サイト開設5周年を迎えて」 福井サイト

【オンライン講演会】

13:50 基調講演
カーボンニュートラルに向けた産総研エネルギー・環境領域の取り組み
— 地域連携を中心に —
エネルギー・環境領域研究戦略部 研究戦略部長 竹村 文男

2030年までの温室効果ガスの排出量46%削減、それに続く2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、国内全ての産業で革新的なイノベーションが必要となっています。エネルギー・環境領域では、この困難な社会課題の解決のためにさまざまな技術開発を多くの民間企業の皆様と連携して進めております。本講演ではその中から地域企業の皆様との協働した取り組みについて、事例をあげながらご紹介いたします。

14:30 「脱炭素社会を支える再生可能エネルギーと水素エネルギーの研究開発」
— 再生可能エネルギー研究センター（RENRC）の取り組み —

再生可能エネルギー研究センター 研究センター長 古谷 博秀

2014年に東日本大震災の復興と世界最先端の再生可能エネルギーの研究開発を行うために福島県郡山市に設立された産総研福島再生可能エネルギー研究所（FREA）で、再生可能エネルギー研究センターは唯一の研究部隊として再エネ及び水素エネルギーの研究開発を実施してきました。本講演では、脱炭素社会での再生可能エネルギーや水素エネルギーの位置づけと、FREAでの具体的な研究開発の成果を中心に、脱炭素社会に向けた研究開発について紹介いたします。

15:00 「脱炭素社会のキーテクノロジー：電池技術の研究動向と将来展望」

上席イノベーションコーディネータ（関西センター） 谷本 一美

地球温暖化対策並びにSDGs意識の高まりで自動車の電動化の流れの中、欧米の自動車メーカーが率先し電動化シフトへ動き出しています。そのキーテクノロジーとなる二次電池の研究開発のわが国の取組について、かつては車載用電池への展開も考慮しつつ、電力貯蔵システム対応の開発の経緯があります。現在、主要となった車載用を含めた二次電池開発の動向を概観し、将来展望及び、近年の産総研の研究成果を紹介いたします。

15:30 「LCAを活用したカーボンニュートラル社会に資する産総研の取り組み」

安全科学研究部門 総括研究主幹 田原 聖隆

パリ協定の温室効果ガス(GHG)80%削減に留まらず、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。国内企業においても、その目標を目指していかなければならず、製品単位や組織単位でのGHG排出量の算定には、LCAが必須となってきます。本講演では、LCAの概要、産総研で開発しているインベントリデータベースIDEAをご説明いたします。

16:00 閉会の挨拶

<参加申込>

以下の項目をご記入の上、下記送付先(産総研福井サイト)までお送りください。

- 1) ご氏名
- 2) ご所属・役職
- 3) 参加方法の別:(オンライン／福井会場)
- 4) メールアドレス

<送付先/問い合わせ先>

産業技術総合研究所福井サイト(福井県工業技術センター内)

E-mail: M-fukui-aist-ml@aist.go.jp

主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所

共催：福井県工業技術センター、公益財団法人 ふくい産業支援センター

産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会

後援：ふくいオープンイノベーション推進機構